

日時：令和6年11月21日（木） 19時から 場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、渡邊、吉波、大平、塚田、水島、中川、堀口、田中、森、能登

欠席者：丁子、小倉

≪報告事項≫

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

- ・12月22日（日）現職者研修（精神）：参加者多数
- ・12月4日（水）MTDLP事例検討：参加者少

2) 発達障害部会

- ・学校生活支援事業の報償費について

（1）派遣事業について

学校への報告書の作成には、当初2時間の日当で計算していたが、作成に4時間かかってしまうとのことで、報償を4時間分に上げたい。

派遣費（1,000円×時間かける人数）＋報告書作成（1,000円×時間）にて承認

- ##### （2）講師依頼については、資料作成にかなり時間をかけているためそれに見合った報償を出したい。 時間で計算ではなく、協会の講師料を参考に支払いを検討する

3) 高齢者支援部会

- ・12月8日 岡田氏出席
：昨年度の参加済みで、協会からのアンケートに返答済みでその内容を報告予定

4) 普及指導部

- ・委員会議事録確認

① 体験会開催回数を減らしたい。理由が、人が少なく大変だから。

人が少なく大変だから回数を減らす理由としては、妥当ではない。広報活動として重点課題であると認識しているため、養成校と協力することで可数を減らさないように検討して下し皿。

② OTマップ、領域について：今後のやり方を検討すべきと懸念している

協会員＝士会員となった時に検討すべきだが、来年度は、ペーパーベースでおこなう。

データは、会費納入時の会計のデータを共有するなどして負担を減らす。

- ・委託事業：介護ロボットや介護フェス、など主催者によって開催不透明だが、準備していく。

フレイルフェス事業は行う予定。以上の事業に関する運営などは、福祉用具支援部会や高齢者部会などに主に運営して頂くことで普及指導部の負担を減らしていく。

5) 生活作業療法委員会

- ・11月20日 高岡地区 開催：日頃の取り組みが十分説明されていた
- ・12月10日 砺波地区 開催：今から広報活動していく。

2. 日本作業療法士協会関連

1) 令和6年度 第3回 協会・士会委員会、ヨンパチ委員会

- 11月23日(土) オンライン開催。齋藤、桐山、大平、塚田出席：3役が参加
内容：5歳児健診の参画、協会員＝県士会員が議題

3. 富山県関連

1) 専門職協議会

- 11月17日 介護予防に関する研修会
・OTトピックス有り：山口先生（認知症の講演）、南砺市民、裏田先生の発表

4. 東海北陸

1) リーダー研修会（堀口理事）：準備進んでいる

- ・富山県より5名 11月23日 10時から16時 オンライン 運営委員は国際会議場
- ・富山県より。角畑、南、中岡、上田、池端…参加依頼発送済み
・全県士会から入金済み
・HPに会長挨拶載せる。

5. 検討事項

1) 県学会（運営委員より）

- (1) 次回配布物の時期の確認・・・現在、発送する部署はない
・事前登録や学会案内を今年度中に発送予定

(2) 運営委員、講師の参加費

原則徴収する。学会日は一律支払っていただき、日当を支払うことで学会費に当てて頂く。

生涯教育ポイントおよび聴講者、事業収支等

他の学会、これまでの県学会でも、作業療法士および規定に該当する場合は参加者として徴収。

・・・承認

(3) ZOOM 契約内容

1アカウントか。2会場同時使用可能か。

…不可。1万円支払い、オプションで1ヵ月のみもう一つアカウント使用可能。

(4) 講師の会社の二次元コード掲載について

抄録内でも可能か、広告出してもらうか：OT学会では、掲載有り。士会も準ずる。

(5) 学会の位置づけ

独立したものではなく、理事会に直結したもの。予算、補填は士会費から支出。

地区の繋がり、次世代の育成。：県士会に属したものとして考える。

2) 事業計画案

別紙参照

各部、委員会から来年度の活動報告あり。

3) 事務局長からの連絡、検討の方法について

検討事項、連絡などは、事前確認。

次回理事会：12月19日 19時より

※1月は例年理事会なし